

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 芦安小中学校

# 芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み  
未来を拓く人づくり

令和4年3月18日 NO.11 芦安小学校長

## がんばった子どもたち！

「光陰矢のごとし」と言います。一年が過ぎるのは本当に早いものです。4月の入学式が昨日のこのように感じられます。子どもたちは春休みを境に、また一つ学年が上がります。この一年を振り返ってみますと、子どもたちの成長ぶりには目を見張るものがあります。身体面の成長、学習面の成長、生活面の成長等々、みんな同じではないのですが、それぞれの学年や個性にあった成長を見せてくれました。しかし、子どもが自身の成長に気付くことはなかなか難しいことです。一年の終わりを迎える今、子どもに声掛けをする中で子どもの成長を祝ってあげ、意欲につながられればと思います。「勉強を進んでできるようになったね」「お手伝いを良くしてくれるようになったね」「挨拶がしっかりできるようになったね」等々何でも良いのです。一年の成長をお互いに意識し、さらなる目標へとつなげていきたいと思っています。

さて、子どもの成長には成長を支えてくれる人たちがたくさんいたことを忘れてはいけないと思います。人は自分一人で大きくなることはできません。衣・食・住を支えてくれる保護者、病気の時に付き添ってくれる家族、地域の行事でお世話になる地域の方々、登下校の安全を見守ってくれる「芦安子を守る会」会長の清水さんや駐在さん、社会科見学等でのお世話になった方々、学校で勉強を教えてくれる先生方等々、たくさんの人たちに関わっていただく中で今の自分があることに気付いてほしいと思います。そして、関わってくれた方々に「感謝」の気持ちを持って育ててほしいと思うのです。

一年の終わりを迎えるこの時期、子どもたちにも「感謝」することの大切さについてお話してください。

## 春休みの生活について

今は卒業式に向けての取組を進めています。子どもたちの気持ちが日を追うごとに高まっていくのを感じています。良い卒業式になるでしょう。3月23日がとても楽しみです。

さて、卒業式が終わるとすぐに春休みです。春休みは一年を終えた達成感と進級の喜びから解放感のある休みとなりがちです。地域に帰って子どもだけで活動する機会も増えるでしょう。一年の中でも犯罪に巻き込まれる可能性の高い時期です。遊び場所や帰宅時間など家族で共有できるようにお願いします。そして、「早寝・早起き・朝ごはん」等の生活リズムが崩れないようにし、次年度へとつないであげてほしいと思います。子どもの健やかな成長のためにご家庭でもご指導をお願いします。

来週配布する生徒指導担当からの「春休みの過ごし方」もぜひご覧ください。

学年末休業は3月26日（土）から31日（木）まで、学年はじめ休業は4月1日（金）から5日（火）までです。土日を除いて職員が勤務しておりますので、緊急の対応が必要なことが生じたら学校に連絡をしてください。なお、以前お知らせしたコロナ感染症の発症時または濃厚接触者となった際の休日等の緊急連絡先は、3月27日（日）で無効になります。ご承知ください。

## ご支援とご協力に感謝いたします

4月の始業式から始まり、授業参観、自然体験活動、運動会、芦安文化祭等々、保護者や地域の方々には様々な場面でご理解とご支援・ご協力を頂きました。コロナ禍という制約の中での活動が多かったのですが、それぞれを子どもたちの成長につなげることができました。また、この一年大きな事件や事故が無く過ごせたことは、ひとえに保護者の皆様のお蔭と深く感謝いたします。本当にありがとうございました。来年度も本年度と変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

本号をもちまして、今年度の学校だより「芦安っ子」を終了いたします。ご愛読ありがとうございました。

【ボルダリング体験 2月17日】

何回か指導をいただいている南アルプス署の杉田さん（後列左）に、今回は後列右から芦安ファンクラブの清水准一さん、南アルプス署の堀川さん、芦安ファンクラブの中島さんにご指導いただきました。ボルダリングには、自分の力を出し切ることの楽しさを知ることや、仲間にルートを教えたり励ましたりすることで、友達を思う心を育てる効果があると感じます。来年度も教育活動に位置づける計画です。他の学校にはなかなかない設備です。有効に使いたいと考えます。状況が許せば保護者や地域の皆様にも参観していただく機会を作りたいと思います。



シューズなどの用具も貸していただきました。



女子もどんどん登ります。



登る姿がカッコいい。

【野鳥の学習・巣箱づくり 3月14日】



昨年度に続いて、地域在住の伊東さんと竹本さんを講師に、野鳥の学習と巣箱づくりを行いました。

昨年度、学校南側の学校林の木にかけた巣箱は、ひとつだけ鳥が入ったそうです。今年はいくつ入るでしょうか、楽しみです。

温かい季節になり、野外で鳥を目にする機会が増えました。子どもたちが身近な自然に目を向けるきっかけになればいいと思います。ま

た、金づちと釘を使って巣箱を作るのも、子どもたちにとって貴重な経験だったようです。